

講座番号 D16	講座名：
	地域の環境問題を心理学的アプローチで解決！！
講師名：宮城学院女子大学 心理行動科学科 森 康浩	

対象者	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中高生	大人
					○


実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	少数から大人数まで対応可能
所要時間	60分程度
受講者が準備するもの	資料を投影するスクリーンや液晶テレビなど(ない場合は相談してください)

参考教科 ※1	
参考SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となるSDGsのゴール

講座概要	地域の中でよく見られるごみのポイ捨てなどに心理学の視点から対処法を考える
講座内容	<p>地域の中で生じる問題としてごみのポイ捨ての対策があるのではないのでしょうか。地域の中でみられるポイ捨ては海ごみの問題ともかかわりがあります。そのため、環境問題と関わりが深い地域の中の問題といえるでしょう。</p> <p>このようなごみのポイ捨ては、よくごみがポイ捨てされてしまう場所とポイ捨てをされない場所があると思います。ポイ捨てをしようとする人にとって、心理的にしやすい場面とにくい場面があります。今回の講義では、どのようなことが原因でごみのポイ捨てが引き起こされているのか、ポイ捨てをしようとする人の心理を理解すること、さらにそのようなポイ捨てをしようとする人、してしまう人の心理を理解したうえで、地域の中で実施可能な対策についての知識をつけることで、有効な取り組みを実施する手立てを一緒に考えることができると思います。</p> <p>主な講義の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみやポイ捨てにまつわる環境問題 ・ポイ捨てをしてしまう人の心理 ・ポイ捨てに有効な働きかけについて  <p>ポイ捨てされた容器包装プラスチック</p>
講師よりコメント	ポイ捨てを抑制するための働きかけの仕方やそもそも何が原因でそのような状態が作られていってしまうのかといったごみ問題と関わる心理学の話をしていきます。事例や具体的な対策、その効果について例を出しながら説明をします。身の回りにポイ捨てが顕著な場所があれば、写真もお持ちください。
備考	